

八小まちづくり会議アンケート集計

Q：まちづくり会議を続けたほうがよいと思いますか？

- ①このまま続けるべきだ……………9件
- ②会議のやり方を変えて続けるべきだ……4件
- ③必要な協議事項があるまで休止でよい…5件
- ④その他……………1件

Q：①～③を選んだ理由（②を選択した場合には具体的な会議方法を記載）

1 このまま続けるべきだ

- 取り組みとしては地域活性化を見据えた意味では重要と考える。ただ、下記の設問と似てしまうが、議題に違和感がある。当初は市長交えて「伊奈平（八小）地区の活性化」をうたい、市民の協働、横の繋がりの強化。古くから居住する者と、新しく居をかまえた者の仲介となり自治会を盛り上げるといった内容であったが、いつからか「防犯」がメインとなり、単なる安全委員会になってしまった。私が思い描いていた地域活性化とずれているので、協議議題が他に変わっていったら再び会議へ出席したいと思う。
- 年に3～4回のペースで関係機関のメンバーが顔を合わせていることにも大きな意義があると思います。
- 八小校区の地域課題「地域の防犯」の推進は道半ばです。また「八小セーフティ教室」への参加者、特に生徒さんの父母の参加が少ない。まちづくり会議のメンバーの参加も少ないですね。参加できない事情がそれぞれあると思われますが、メンバーの方はより参加意識を持ってしかるべきと思います。あれこれテーマを考えることも大事ですが、今ある目の前の計画を着実に実行、継続することが子供達を守ることになるのではないのでしょうか。
- 「地域の防犯」について更に活動を進めて欲しい。各団体より、防犯・防災につながる情報収集を行い、マップ作成等により、子どもからお年寄りまで周知する。
例：①〇〇交差点は、見通しが悪く子供が車にはねられそうになることがある。
②〇〇の辺りは、日中は平気だが夜間は要注意。

③〇〇通りの××前付近は、大雨の時冠水しやすい。

④〇〇丁目の××番地付近は、歩道が傷んでいる。

- 会議の期間がまだ3年程度なので、試行錯誤の状態なので、続けることで何か課題が見つかるように思います。八小との情報交換の頻度を高くする必要があると思います。
- 顔を合わせるなかで、新たな課題が発見できるのではないかと思います。
- 3年間の会議経過の内容どおり、多難な問題が多くありますが、「八小セーフティ」子供達の見守り活動等、地域と八小まちづくりを、このまま続けていけたら良いと思います。
- 会議に参加出来ず理由は浮かびませんが、このまま続けて頂きたいです。
- 続けることが大切。防犯グループとの連携を育てていく。必要なことがあれば、別途チャレンジできる。変更提案には前向きに取り組む。

2 会議のやり方を変えて続けるべきだ

- よりよい、住みよい町になって欲しいと誰もが期待していると思うので、各団体の委員だけでなく、もっとはばを広げて若い世代の参加を希望します。幼稚園、小・中学校、高校のPTAの父母の方々（具体的にはPTAの委員が協力してくれるのでは）にも声を掛けても良いのではと思います。現実的には難しいと思いますが。
- 次の課題を決めるには、時間を要すると思われるので、行政に対し市民からの要望の中で、地域で解決できるものを、職員と役員とで検討し、次のテーマ案を作成し会議の材料としてはどうでしょうか？必要に応じ要望担当課の職員の出席についても検討してはどうでしょう。
- この会議が参加者への実行性を求めたものなのか、それとも会議でまとめたものを委託団体に実施してもらうためなのか方向性が変わってしまい、会議スタート時でのテーマ抽出後の問題解決に至っていないような気がするため、もう一度原点に戻って実施した方が良いでしょう。ただ、同テーマを掲げた委員会が多々あり、重複してしまうならば、出席者の顔ぶれは同じ方が出席していることが多いので、出席者負担をなくすため休止しても良いと思います。
- 具体策はありませんが、その日のテーマを次回の会議に持ちこすことは、出来れば避けたい方がよいと思います。また、いま一度会の主旨を明確にし、話し合いをスタートさせた方がよいのではないかと思います。

3 必要な協議事項があるまで休止でよい

- 五中校区・一中校区・八小にコミュニティスクールが設立され、学校教育と地域との連携が図られ、年々その成果が結実し評価されつつあります。
特に地域人材の活用（学習・農業支援、芝生緑化等）、地域行事への参加（ブラスバンド等の出張演奏会等）、地域パトロールの実践（教職員と地域の各種団体構成メンバー等）などがあげられる。
- 会員が他団体との重複が多く、議題自体が重なり難しい。
- 更生保護の方からの参加ですが、今までこういった会議があることを知りませんでした。家庭の事情で夜の参加が出来ません。
- 一度、この会の今後の方向性や必要性を皆で話し合ったほうが宜しいのではないかと思います。 防犯パトロール団体を一同に集めたことも、一回限りで良いのか、セーフティ教室への参加も今後も継続して続けていくべきなのか。また、新たな活動を考えていくのか。
皆さん、他の団体でもご活躍されている方が多く、多忙な中で、本当にこの会が八小地区の為になる活動を行うのが難しいのであれば、一旦休止でも良いと思いますし、逆に必要性があるのであれば定期的に続けていけば宜しいのではないかと思います。
- 会議のテーマから決めるのは大変で、八小地域で問題が出来れば集まれば良いと思います。

4 その他

- (1) 「八小まちづくり会議」＝「地域の防犯」となっている。
- (2) 防犯（防災）の既定組織があり、この団体間のコーディネーターになり得る組織なのだろうか。無理があるように思う。
- (3) 自治体の自治としての市民参加（協働）、自治会の問題点、自治会加入したいが加入できない理由（既に明らかになっている）、これらをもう一度自治会に戻し、「自治会内関係作り」を基軸にランダムな議論が必要かも。→自治会内諸組織の融合が先決（子供会～老人会等）
- (4) 議論、行動エリアの拡大はフェイス to フェイスのつながりが難しい。隣近所、助け合いの精神にもう一度戻ってみることも大切かも。
※自治（公共的行動）に関わる「私に出来るこんなこと」のアンケートを募集したらどうでしょうか。

Q：まちづくり会議で協議したいテーマがありましたらお聞かせください。

- 小さなことからまちづくり。例えば「ごみのないまち」「交通事故のないまち」一人ひとりがさりげなくまちを作っていくためのPR活動等々、協議していけたらと思います。
- 新しい活動の模索は地域人材の分散と過重に繋がりがねない。それ故必要な協議事項があるまで休止すべきと思われる。五中校区、一中校区、八小コミュニティスクールの発展を祈念しつつ。
- 例えば五中校区の夜回りに一緒に参加する等、会としての具体的な行動を繰り返していけば、新たな課題も見えてくるのではないかと考えます。
- 八小地区の見守り番の設置について
- 防犯パトロールの実施。五中校区コミュニティで毎月1回実施されている。八小地区も含まれているが、五中からのスタートになっており、伊奈平や三ツ藤住宅にはなかなか行くことができていない。当会議が主導となり八小地区を隅々までパトロールすることでそのマップ作成にも繋がる。
- その前に、中長期的な会のあり方、目的、方向性等を話し合うことが必要なのではと思います。
- 福祉教育
- 第6回における内容をもっとつめていった方が良いと思う。コーディネーターとして何ができるのか、何をすべきなのか。
- 地域コミュニティの活性化のためには。
（1）何が必要か？（2）どういうことなら出来るか？（3）繋がりを広め、深める方法はあるか？